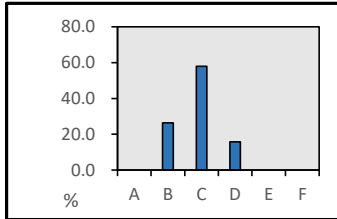


2021年度前期大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程講義アンケートとその内容報告

2021年7月実施

1. 講義内容について

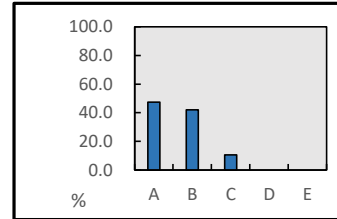
(1) 難易度について



【項目】	
A	非常に難しい
B	難しい
C	普通
D	やや易しい
E	易しい
F	該当なし

	票数	%
A	0	0.0
B	5	26.3
C	11	57.9
D	3	15.8
E	0	0.0
F	0	0.0
計	19	100.0

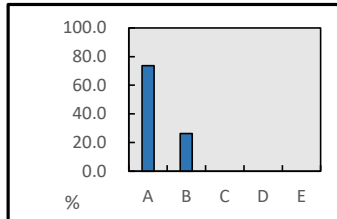
(2) 大学院講義としての適切性について



【項目】	
A	適切である
B	やや適切である
C	やや適切ではない
D	適切ではない
E	該当なし

	票数	%
A	9	47.4
B	8	42.1
C	2	10.5
D	0	0.0
E	0	0.0
計	19	100.0

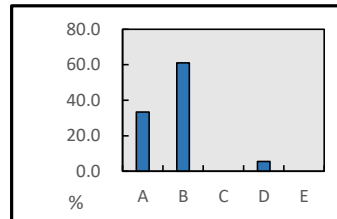
(3) 教員の準備について



【項目】	
A	よく準備されていた
B	どちらかというと準備されていた
C	あまり準備されていなかった
D	準備されていなかった
E	該当なし

	票数	%
A	14	73.7
B	5	26.3
C	0	0.0
D	0	0.0
E	0	0.0
計	19	100.0

(4) 理解度について



【項目】	
A	理解できた
B	やや理解できた
C	やや理解できなかった
D	理解できなかった
E	該当なし

	票数	%
A	6	33.3
B	11	61.1
C	0	0.0
D	1	5.6
E	0	0.0
計	18	100.0

(5) 講義全体で良かった点

・授業中、英語を中心に会話をするのが新鮮で良かった。・英語でのプレゼンテーションが初めてだったので良い経験ができた。・授業中、英語で話すという事がなかったので、良い機会となった。・英語のスピーチの文書を何度も書いたので、英語における原稿の書き方を学ぶことができた。・英語での会話の基本だったので、英語の表現を考えながら履修できた。・難しい表現やわからない意味を簡単な英語や日本語で解説を受けられた。・薬と病態や治験、倫理など色々な内容を学ぶことができた。・色々な研究室の研究内容を知れて興味が沸いた。・薬の開発研究は様々な臨床試験をしなければいけないなど重要性を学ぶことができた。・実際の現場での状況を知ることができた。・スライドがわかりやすかった。・生命科学部では学べない内容なので貴重な経験ができた。・創製制御のことを全面的に教えてくれた。・新薬の開発段階はどうやって進むか、薬品がマーケットに入る前に臨床段階はどう行うか理解できた。・質問しやすい授業が多かった。・先生方の実験まで学べて、とても興味深かった。・漢方についてわかりやすくまとめられており興味が沸いた。・資料を毎回配付いただき、書き込みながら受講することができた。・スライドが見やすく、初めて生薬学に触れ、とても興味深かった。・生命科学部では学べない生薬について学べた。・スライドがわかりやすかった。・薬学の分野で汎用的に用いられる分析機器について、原理から応用まで学ぶことができた。

(6) 講義全体で悪かった点

・zoomの授業にて顔出しでも良かったと思う。・課題としてアプリをダウンロードしてそのアプリ内で自撮り動画を送るのは疑問に思った。・プレゼンテーションの準備期間が少し短かった。・授業担当者が頻繁に変わるため、授業の繋がりがもう少しあったほうが良いと思った。・講義室の空調を配慮してほしかった。・薬学部6年生と同じ授業を受けるのは疑問に思う。・学んだことがない分野だったので、構造が多少しわかりにくかった。・レポート課題が授業回によって負担が大きかった。

2. その他、講義に対する希望やご意見などを記載してください。

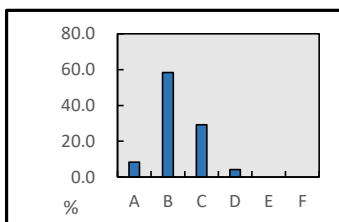
・コロナ禍でzoomでの授業になってしまったが、zoomでは音の反響や聞き取りにくい所もあったので、対面での授業を受けたかった。・もう少し研究につながるような講義を受けたかった。・パワーポイントの資料に、日本語と英語の併用を統一してほしい。また、英語表記の解説には、日本語も載せてほしい。・学生間でディスカッションできる機会がほしかった。

2021年度前期大学院薬学研究科薬学専攻博士課程講義アンケートとその内容報告

2021年7月実施

1. 講義内容について

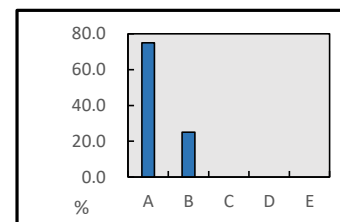
(1) 難易度について



項目	
A	非常に難しい
B	難しい
C	普通
D	やや易しい
E	易しい
F	該当なし

	票数	%
A	2	8.3
B	14	58.3
C	7	29.2
D	1	4.2
E	0	0.0
F	0	0.0
計	24	100.0

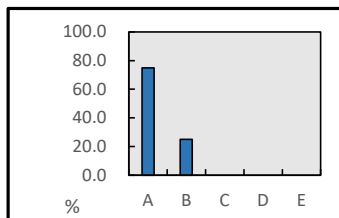
(2) 大学院講義としての適切性について



項目	
A	適切である
B	やや適切である
C	やや適切ではない
D	適切ではない
E	該当なし

	票数	%
A	18	75.0
B	6	25.0
C	0	0.0
D	0	0.0
E	0	0.0
計	24	100.0

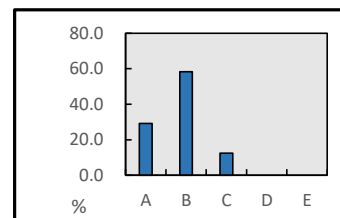
(3) 教員の準備について



項目	
A	よく準備されていた
B	どちらかというと準備されていた
C	あまり準備されていなかった
D	準備されていなかった
E	該当なし

	票数	%
A	18	75.0
B	6	25.0
C	0	0.0
D	0	0.0
E	0	0.0
計	24	100.0

(4) 理解度について



項目	
A	理解できた
B	やや理解できた
C	やや理解できなかった
D	理解できなかった
E	該当なし

	票数	%
A	7	29.2
B	14	58.3
C	3	12.5
D	0	0.0
E	0	0.0
計	24	100.0

(5) 講義全体で良かった点

・博士1年次に行う事で、同じグループの学生同士、親睦を深める事ができた。講義終了後にも、学生だけの時間を作って頂いたため、さらに親睦を深める事が出来た。・毎週トピックを持ち寄ることで、世界的、社会的視野を広げ、様々な立場から議論する事で、その内容について深く考える事が出来た。・自分で記事を見つけて、みんなで討論するのがとても勉強になった。・トピックが楽しかった。そして、自由に話し合いさせて頂き、英語を自由に使うことで、とても充実した。・英語を話す機会を多くもらえたこと。・普段積極的に触れることのない英語環境に触れることのできる良い機会であった。・英語を理解し、話す能力は将来必要になるスキルであり、本講義により、少しでも以前の自分より英語のスキル向上が果たせたのではないかと感じている。・英語の論文を作成したことがなかったため、今後作成する際に役立つスキルを手に入れることができた。学生に英語で話をするようまくりリードいただき、英会話の面でも、より良い時間となった。・全てが英語で行われたので、聴くこと、話すことについて鍛えられたように思う。また、トピックリーダーの準備をすることで、普段見ないWorld NewsやBBC、CNN等の海外ニュースを見るようになった。・ネイティブな英語を聞き、自分の英語力を試せる貴重な時間だった。・各個人の発言をしっかりと待って頂いたり、Sebastian先生と一緒にディスカッションに入ってくれた点など、インタラクティブに進められた授業は非常にやりやすかった。・外部講師を含め、色々な研究者のこれまでの軌跡を見ることが出来た。・先生方の研究について知ることができ、とても勉強になった。あまり聞く機会のない講義内容だと思うので、興味を持って臨むことが出来た。・外部講師の授業が多く、知らなかったことを多く学ぶことができた。また、良い刺激にもなり、自分の研究に活かしたいと思った。zoomを用いたことで、普段聞けないようなことも聞くことができた。・色々な研究について話を聞けて良かった。また、外部の先生の話も聞けて良かった。・先生方の研究の話詳しく聞ける機会は多くないので、大変貴重な時間であった。また、外部の研究員の方の講演も自分の研究分野とは違う為、普段では経験できないことであり、刺激となった。・自身の専門分野とは異なる分野の研究の進め方について知ることができた。・先生との距離感が近い点。・先生方が行ってきた研究内容などが聞けて良かった。・自分の専門分野以外であるが、その内容はとても興味深いものであった。一部、理解が追いつかないものもあったが、全体では理解できることも多く、様々な事を知ることができた。・外部講師による授業があり、知らなかった手法を知ることができ、自分の研究に活かせると思った。また、授業の流れを見て、他の分野の人に伝えるための話し方やスライド作成方法を学ぶことができた。学会などで役立てたい。いづれの講義においても講師の先生方がInteractiveな講義をして下さった。講師の先生方のバックグラウンドが多岐にわたっており、それぞれの専門からの講義を聴くことができた。・内容が担当者によって大きく変わることもあり、バラエティに富んでいて良かったと思う。学生と先生方と討論したり色々な意見が聞けて良かった。・先生方の経験を伺える機会も多くあって今後の私たちの人生設計の参考になってうれしかった。

(6) 講義全体で悪かった点

・もう少しゆっくり喋ってほしかった。もう少し授業をしてもらいたいと思った。(論文の書き方等)・実際に自身の研究テーマをもとに英語の論文を作成することで英語の論文を作成するスキルの向上を目指していたが、テーマを検討している段階であったため、少々作成しにくい部分があった。可能であれば、本授業用のテーマをケーススタディ的に論文作成に行えると良かった。・毎週の宿題(自分の研究のIntroduction、Methodologyを少しずつ書いていく宿題+Readingの宿題)に加えて、トピックリーダーが毎週2名ずつであったため、時々授業を休む等の人があった場合、隔週となることもあり、思いのほか毎週実施する内容を多く感じた。トピックリーダーをやるのが結構時間を要し、負担であった。(テーマを探してくるのが難しかった。)・一部の授業でスライド資料の配布がなく、テスト対策という点では復習しづらかった。・基礎知識がないと理解が難しいと感じる部分も所々あったので、あとで振り返りができるよう、授業資料があったら良かった。・スライドが手元にない場合、話についていけない時があった。・薬理学に関する専門的な知識が要求されるため、先生方の研究内容を理解することが難しかった。・講義資料が欲しかった。・スライド又はプリントなど配布があると良いと思った。・スライドや簡単なまとめをプリントアウトして頂いた先生の授業は途中で置いていかれても、振り返り理解することが出来た。他の先生は、一つの因子がわからなくなると、その後、何も分からなくなることがあった。・教室のプロジェクトターのセッティングにどの先生も苦慮されていた。ネット回線を利用しデモを実施される先生方におかれては、Wi-Fi接続にも苦慮されていた。

2. その他、講義に対する希望やご意見などを記載してください。

・zoomには字幕機能があるそうで、私のように英語が得意でない場合は、字幕があると多少理解しやすかったかもしれない。・開始時間が遅いと感じることもあったが、社会人学生のことを考えると妥当と理解している。・授業をしてもらったというよりか自由に話し合いする授業だったので、主体性を持っている学生同士であれば非常に有効的な授業だった一方で、比較的控えめな学生同士が集まってしまうと、あまり意味をなさない授業だった。・先生のおかげで素晴らしいメンバーと親しくなれました。毎週忙しいながらも、この講義を楽しみにしていた。・がんプロの講義とのバッティングは解決した方がよいと思う。・文献執筆を継続した題材にしつつ、記事を基にしたディスカッションやテキストブックなどで生徒が話す機会も作ってくださった。英語の表現や発音などに関するアドバイスなどがあると嬉しかったが、今回の短い期間でそこまで含むのは難しかったかなとも思う。今回定期で英語に触れる機会ができたので継続していければと思う。・授業で使ったスライドをアップして欲しかった。・毎回の授業が楽しみであった。コロナの影響で、zoomになることが多い中、対面だったことは嬉しかった。今回の授業で学んだことを研究に活かしていきたい。・外部講師の授業が多く、良い刺激となった。・zoomによる講義参加が選択できると良いかと思った。・外部講師の先生も呼んでいただいて総じて本当に刺激になる講義でした。ぜひこのスタンスを保ちつつ時代に即した講義を今後もお願いしたい。